

「全施連 全国大会」豊橋で開催

グループで討論会など行う

知的障害者の家族を中心、障害福祉や組織のあり方などについて理解と交流を深め、研究協議を

することを目的とした「第10回記念全国知的障害者施設家族会連合会（全施連）全国大会」（同連合

開催。

出席したのは、知的障害者の家族会や施設関係者ら計67



会主催、東海日日新聞社など後援）は21、22の両日、豊橋市藤沢町のロワジールホテル豊橋で開催されたⅡ写真。愛知県内で初

0人。

初日には、大村秀章知事も出席する中、全施連の取り組みなどが報告されたほか、知的障害者にとつての「新しい生活施設の具体像」について10人ほどのグ

ループを作り、全国各地から集まった支援者らによる突っ込んだ討論がなされた。

2日目は、討論会の報告とまとめが行われ、由岐透理事長からは「知的障害者

が生きていく上で最も重要な『住む場所』である施設を、家族の意見を取り入れてもらい、より良いものにしていかなくてはならない」といった意見が出された。（三浦ゆかり）